

5 話題提供

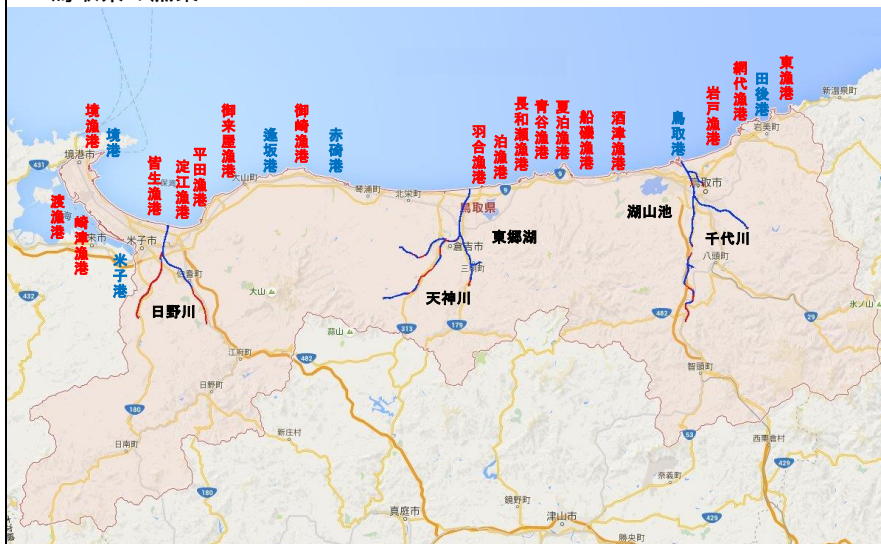
2) 鳥取県における水産業と水産試験研究の現状について

鳥取県水産試験場 下山俊一 場長

鳥取県における水産業と水産試験研究の現状

鳥取県水産試験場

鳥取県の漁業



海面 18漁港、6港湾 境漁港が最大

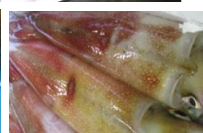
内水面 1級河川3、湖沼2 湖山池では海水導入試験を実施

■ 沿岸漁業

漁 法	水深(m)	主な対象魚
刺網	70	ハマチ、アジ、タイ類、サザエ
小型底びき網	100	ヒラメ、カレイ類、タイ類、エビ類
一本つり	100	ヒラメ、タイ類、ハタ類
イカ釣り(沿岸)	100	スルメイカ、ケンサキイカ(白いか)
地びき網(観光、機械)	20	アジ
定置網(小型定置)	20	アジ、サワラ
潜水	8~20	サザエ、アワビ、イワガキ(6~8月)、ナマコ



沿岸漁業の主要魚種



サワラが増加、キジハタ栽培漁業を試験、イワガキを「夏輝」としてブランド化

■ 沖合漁業

沖合底びき網漁業

漁 船	90～95t
漁 期	9～5月(6～8月禁漁)
漁 場	鳥取県～山口県沖
対象魚	ハタハタ、カレイ類、マダラ、 エビ類、ホタルイカ、ズワイガニ

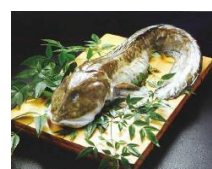


まき網漁業(大中型)

漁 船	135t (日本海)
漁 期	周年
漁 場	隠岐島周辺
対象魚	アジ、サバ、イワシ類、 クロマグロ



沖合底びき網漁業の主要魚種



アカガレイは県東部ではハレの魚

まき網漁業の主要魚種



マイワシは水揚げ日本一を支えたが急減し、近年回復傾向

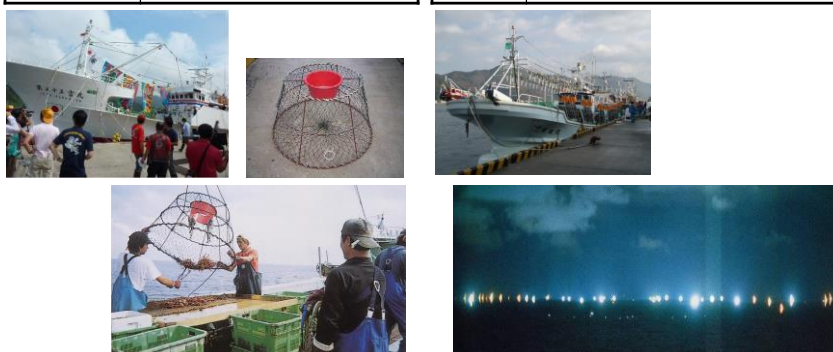
■ 沖合漁業

ベにずわいかにかご漁業

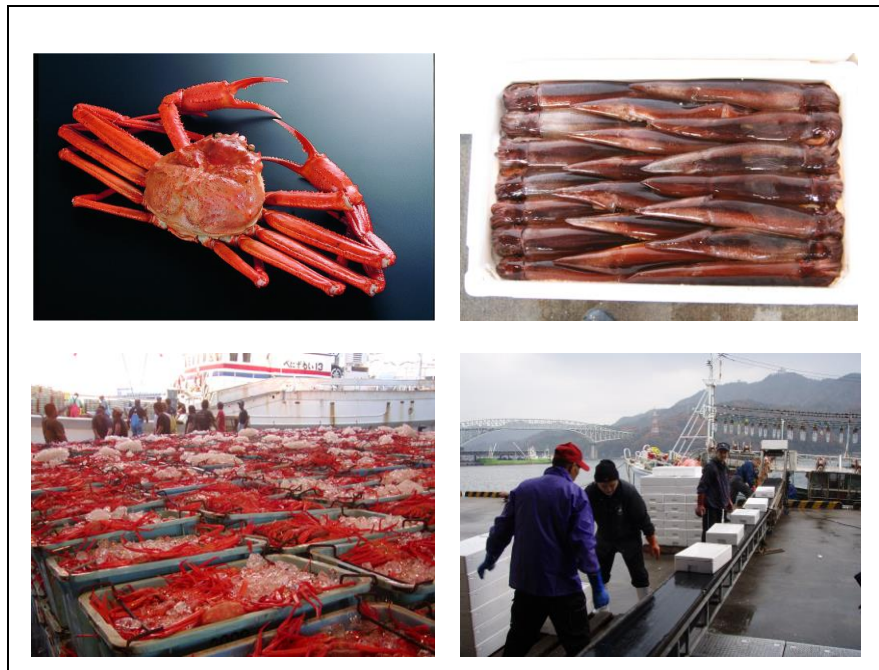
漁 船	75～138t
漁 期	9～6月(7、8月禁漁)
漁 場	大和堆など 水深800～2,000m
対象魚	ベニズワイガニ

小型いか釣漁業

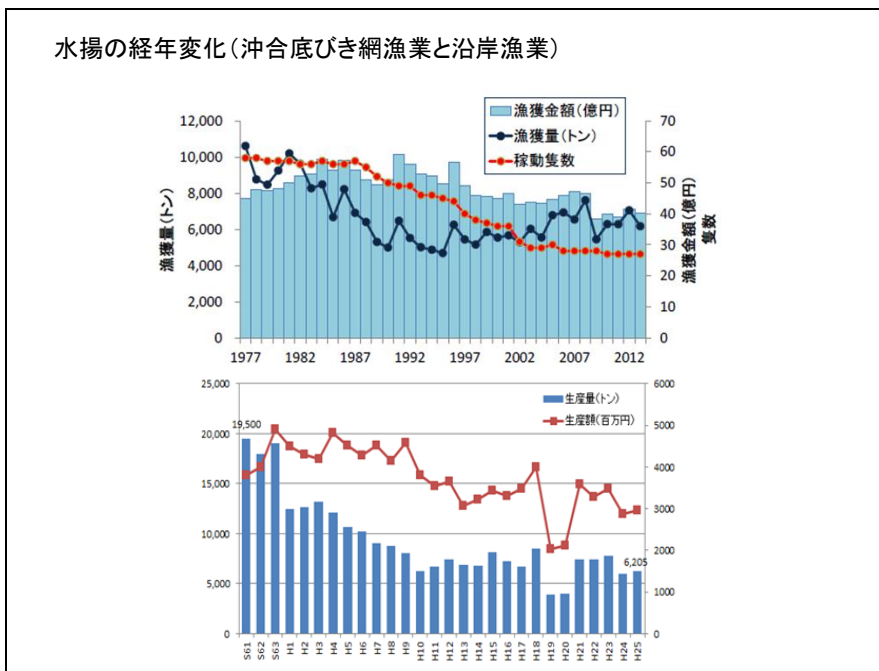
漁 船	19～30t
漁 期	周年(主漁期:春、秋～冬)
漁 場	日本海全域
対象魚	スルメイカ、ヤリイカなど



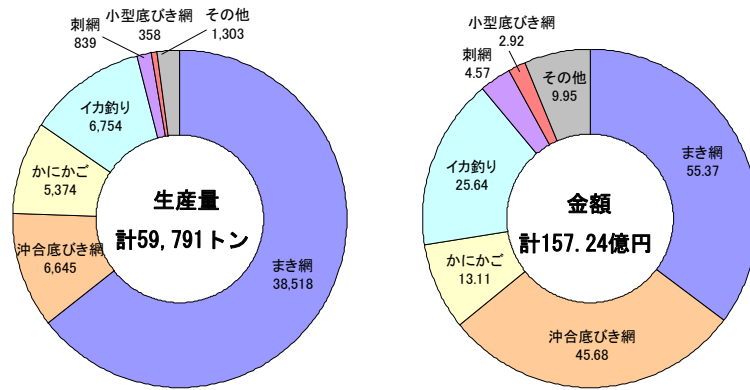
カニカゴは個別割り当て導入、小型個体の脱出口を設置



ベニズワイは30kg入りのコンテナで販売

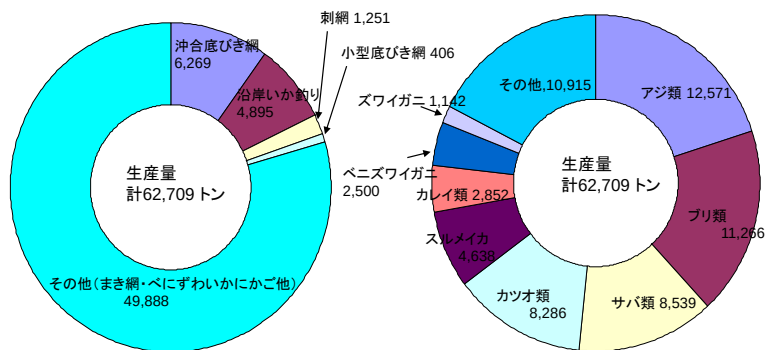


漁業種類別生産量と金額(属人)



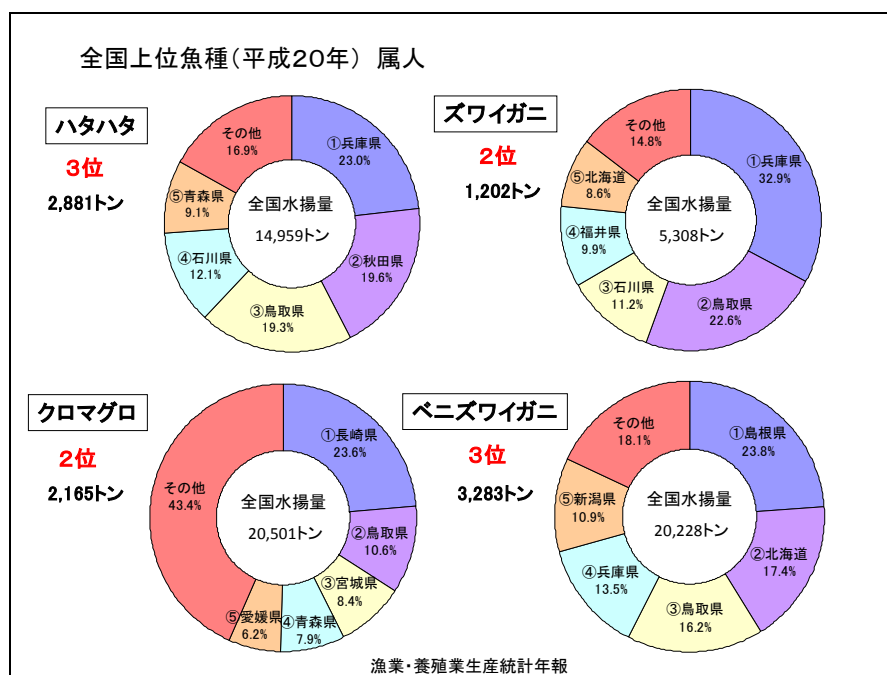
平成17年 鳥取農林水産統計年報

漁業種類別魚種別漁獲量(属人統計)

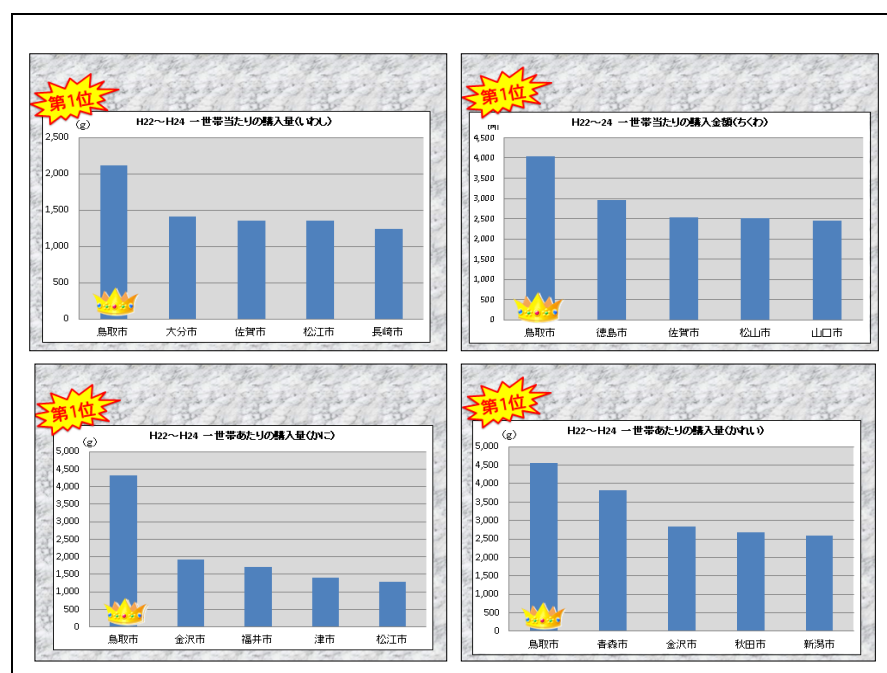


平成23年漁業・養殖業生産統計年報

カツオ類は太平洋側を基地とする海外旋網の水揚げ



境漁港があるため、属地統計であればクロマグロ、ベニズワイガニは1位



県庁所在地の消費統計、スワイガニは学校給食にも
右上ちくわ、豆腐を7割混ぜた豆腐ちくわが藩政時代からある

鳥取県の水産試験研究機関



水産試験場



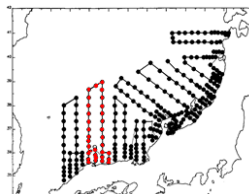
栽培漁業センター



試験船調査



第一鳥取丸(199t)



観測定線



CTD



トロール



イカ釣り

観測では日ロ境界線近くまで担当

試験船調査



かにかご



稚魚ネット(マグロ)



表層トロール(マアジ、マイワシ)

市場調査



ハタハタ



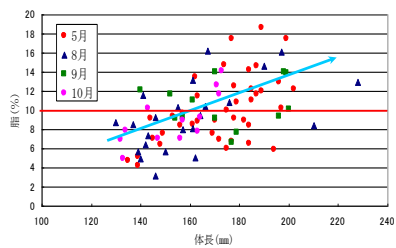
クロマグロ



美味しさの定量化とブランド戦略



近赤外分光光度計による簡易計測



「とろはた」ブランド



他の魚種へ展開

大型のハタハタを「とろはた」としてブランド化

栽培漁業、養殖業

栽培漁業

- 種苗を放流後に資源管理を推進することで、水産資源の確保と増産を図る
- アワビやキジハタ等の付加価値の高い魚種の放流により、もうかる経営体の創出を図る



アワビの放流

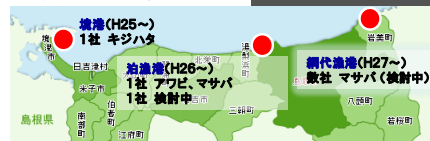


キジハタ種苗

- H28 アワビ(10万個)、サザエ(26万個)
- H26から美保湾でのヒラメ放流を再開(6万尾)
- H28からキジハタの放流をスタート(5万尾)

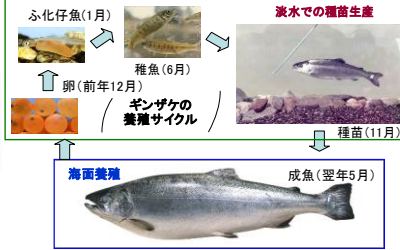
井戸海水を用いた陸上養殖

- 企業による陸上養殖実用化試験の動き



- ヒラメ約6,100尾、アワビ約1,400個を飼育中
- H27年5月31日からヒラメの直売を開始

ギンザケ養殖の拡大



■ ギンザケ稚魚養殖施設の条件

- 豊富できれいな20度以下の淡水
- 水源に近く、上流に人家のない場所、広い用地

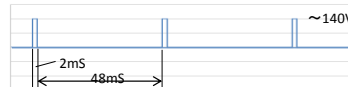
⇒ 中山間地の休耕田等の利用

■ 経済的社会的効果

- 生産規模の拡大: 667トン(H25期) → 820トン(H26期)
- ⇒ 境港市に加工場を整備(H27.5稼働)、新規雇用増加
- ⇒ 生産目標2,000トン、輸出を視野に入れた事業展開
- ギンザケ稚魚の必要量の増大
- ⇒ 稚魚養殖による中山間地での新産業の創出
- ⇒ 地域の新たな特産品の創出・担い手確保

⇒ 中山間地を中心とした産業の育成・地域振興

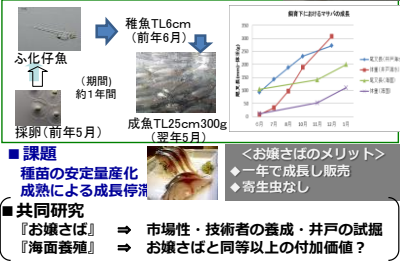
養殖魚水揚げ効率化



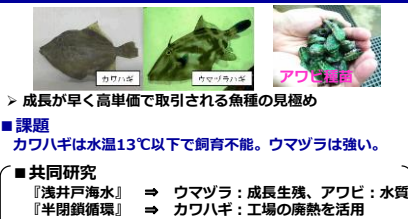
電気ショッカーを開発中

養殖事業展開可能性調査

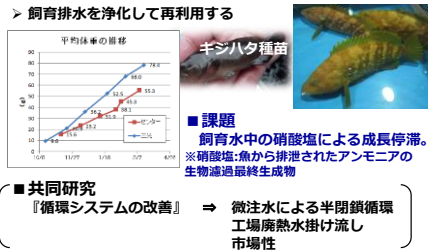
① マサバ陸上養殖（深井戸海水）



③ カワハギ類・アワビ（浅井戸海水/半閉鎖循環）



② キジハタ（閉鎖循環システム）



④ 井戸海水を用いた陸上養殖



[質疑なし]